

# 令和7年度 地域循環共生圏づくり支援体制構築事業 実施計画書（継続団体用）

活動団体の本事業での活動テーマ

『西川町の日常を物語にするツーリズムの構築』

活動団体の活動地域	：山形県西川町
活動団体名	：ツキノワ合同会社
中間支援主体名	：西川町地域資源活用イノベーション推進協議会

# 参加団体の基本情報

## (1) 活動団体の基本情報

団体名	ツキノワ合同会社
活動地域	山形県西川町
専門性・強み	
# 一級建築士 # 建築設計 # 空間デザイン # リサーチ # 管理栄養士 # 飲食 # 観光 # ツアーガイド # アパレルデザイン # プロダクトデザイン # 空き家再生 # シェアハウス # シェアアトリエ # シェアキッチン # ゲストハウス # イベント企画 # ワークショップ # 地域コミュニティ # 官学民連携	

団体概要
地域で生きることの豊かさや可能性を追求するために、課題の発見から解決までを一気通貫で行うまちづくり事業を目的として設立。多種多様な地域のニーズに応えるため特定の業種に縛られない分野横断的なアプローチを目指し、空間・ランドスケープなど〈場所をつくる〉ことから、プロダクトなど〈物をつくる〉、イベント・ワークショップ・ツーリズムなど〈出来事をつくる〉ことまで幅広い事業に取り組んでいる。現在は〈衣・食・住〉で専門性の異なる3名が在籍している。

## (2) 中間支援主体の基本情報

団体名	西川町地域資源活用イノベーション推進協議会
活動地域	山形県西川町
専門性・強み	
# 行政 # 地域づくり # 公的機関との連携・調整 # つなぐ（人材、資源、補助金、企業など） # 対話 # やりたいことを後押しする	

団体概要
地域の豊かな自然や資源を活かして活動する団体を支援し、つなげることでイノベーションが次々起こり、自ら地域課題を解決していく持続可能なまちづくりを目指す協議会。行政が構成メンバーに入り、地域の人や団体の想いをつなぎ、信頼と安心のもとで挑戦を後押しする。対話を重ねながら、地域に新たなつながりや事業が生まれる土壌を育てていく。

# 活動団体と地域の紹介



伊東 優

- ・長崎県長崎市出身
- ・一級建築士
- ・博士（工学）
- ・自転車で大陸横断



伊東 絵里子

- ・山形県酒田市出身
- ・管理栄養士
- ・国内旅行業取扱管理者
- ・移住体験コンシェルジュ



長谷川 瑞輝

- ・山形県天童市出身
- ・服飾デザイナー
- ・地域おこし協力隊
- ・教員免許（美術）

メンバー全員が西川町外からの移住・起業経験者

# 活動団体と地域の紹介



Creative Village 叶屋

- ・ 築180年の古民家を活用
- ・ シェアハウス兼コミュニティカフェ
- ・ 土蔵は工業用ミシンのあるシェアアトリエ
- ・ 地域に開かれたイベントを定期的で開催

## く ら な や す Vol.2

わたしたちの  
ワークシヨップ  
衣・食・住を見つめ直  
して、日々の暮らしを  
ちよつびり豊かに。  
みんなで食べるものや  
使うものを自分たちの  
手でつくろ。  
なんでも手に入る時代  
だからこそ大切にしま  
い、そんな時間。



叶屋  
Nishikawa Creative Village

「西川のお野菜パウンドケーキと刺し子でお茶会」

4月26日(土) Creative Village 叶屋

○時間：13:00-16:00 ○参加費：大人1000円 子供(中学生以下)500円



「眠っている布で刺し子コースター」  
おうちで眠っている古い布や着なくなったお洋服などをお持ちいただき、刺し子を施してコースターに生まれ変わらせてみましょう！



「西川町のお野菜パウンドケーキ」  
協力隊の伊東絵里子が作る西川町で採れた旬のお野菜を使ったパウンドケーキと一緒にお茶をしませんか。自分で作ったコースターを使ってみんなで話しましょう！

お申し込み



Google Map



Instagram



主催：ツキノワ合同会社

お問合せ：080-6290-8255(長谷川)

# 活動団体と地域の紹介

- ・ 山形県のほぼ中央に位置
- ・ 出羽三山信仰で栄える
- ・ 山や川など豊かな自然
- ・ 日本有数の豪雪地帯

## 基本データ

総面積	: 393.23km <sup>2</sup>
人口	: 4,534人 <sup>1)</sup>
高齢化率	: 47.9% <sup>2)</sup> (県内1位)

※1) 令和6年12月時点

※2) 令和4年10月時点



# 活動団体の目指す地域の姿【R8当初計画】

## ■ 地域循環共生圏の構築を通じてありたい地域の姿

西川町に点在する〈ヒト・モノ・コト〉に関する観光資源を地区や世代を超えて町民が自ら知り、町への誇りと愛着が生まれることによって、一人ひとりが地域特有の自然・歴史・文化やここで生きることの豊かさを伝えられるようになり、西川町の魅力をひとつのストーリーとして体験できるツーリズムが生まれていく。

## ■ 地域に必要なプラットフォームの体制や仕組み

- ①地域に精通する〈ヒト〉や 観光コンテンツとなりうる〈モノ・コト〉などの地域資源を発掘
- ②「ここにしかない」と言える魅力や価値を町民と再発見する
- ③主なプレイヤーとなる地域の住民や事業者と連携する
- ④活動団体がコーディネーターとなることで、観光資源のネットワークを構築する

## ■ ローカルSDGs事業として取り組む内容

- ①関係人口創出に向けた「共感」をテーマにしたツーリズム
- ②・移住定住促進に向けた「日々の暮らし」をテーマにしたツーリズム  
・伝統工芸や地域産業の継承に向けた 「なりわい」をテーマにしたツーリズム

## ■ 地域の現状と課題

- 【課題】 ・人口の減少、県内一の高齢化率、後継者不足、担い手不足
- ・レジャーによる観光が中心であり、時代のニーズに応じた観光需要の受け皿が少ない
  - ・魅力的な観光資源に対する町民自身の認識が希薄であり、最大限に生かされていない

### 【資源】

- ・出羽三山信仰や伝統工芸など地域特有の文化が現在も色濃く残っている
- ・風土に根差した食や産業（啓翁桜、山菜、きのこ、そば、雪下野菜、地酒など）が豊富にある
- ・厳しい自然環境と三山参りのおもてなし文化が育んだおおらかな町民性

# (参考) ローカルSDGs 事業の紹介

## 関係人口創出に向けた 「共感」をテーマにしたツーリズム

### 【概要】

地元のワイナリーの見学を行った。9～10月はぶどう収穫の繁忙期であり、この時にしか見ることができない工程、説明を聞くことができた。説明を聞いた後に試飲も行ったことで深い味わいとなった。



【段階】日程さえ合えばいつでもいつでも受入可能な状態

### 【活用している自然資本・地域資源】

月山トラヤワイナリー  
(工場見学・ぶどう畑)



### 【事業により生じたor 生じそうな成果】

これまで無料で行っていた工場見学だが、普段は見るできないような工程を見せて頂き1時間かけて丁寧に説明して頂けた。非常に満足度が高く、参加者からは料金が発生しても参加したいという意見をいただくことができた。

### 今後の展望

工場見学だけでなくぶどう収穫体験やガストロノミー(食体験)と組み合わせることや、ターゲットをしばった集客にすることでより高価格の体験型ツアーを組めるという実感があり、事業者も前向きなので今後具体的に事業化していけると考えている。

## 移住定住促進に向けた 「日々の暮らし」をテーマにしたツーリズム

### 【概要】

町内で農業を営んでいる方々との体験型ツアーや農業インターンの取り組みについて、現実化していくための意見交換会を行った。各社が抱える課題や現状を率直に話して頂き、解決していくための事業の提案を行った。



【段階】具体的な日程・実施内容についてはこれから各社ごとに入念な打ち合わせが必要な状態

### 【活用している自然資本・地域資源】

町内で農業を営んでいる事業者6社(米・蕎麦・啓翁桜・ぶどう・人参・黒豆・野草茶・なめこ・わらび等)

### 【事業により生じたor 生じそうな成果】

農業者が抱える課題(特に人材不足)は事業を営んでいく上でも大きな問題である。全社農業インターンを取り入れた新事業に興味を示しており、来年度に向けて実現していきたい。

### 今後の展望

体験型ツアーに興味を示している事業者もいるが、目の前の課題を解決する方が優先で農業インターンの需要が高いと感じた。無理のない範囲で体験型ツアーを企画していきながら、農業インターンの受入れをして課題解決に向けて実現したい。

# (参考) 現状の地域プラットフォーム

## 山菜料理

出羽屋

玉貴

金子農園

日塔篤夫  
観光わらび園

月山じょいふる  
ファーム

## 農業体験

月山トラヤ  
ワイナリー

細谷信太郎  
(畑・カヌー)

市角隼乙

そば愛好会  
(吉川地区)

間沢地区  
お母さん  
(料理)

## 地域活動

笑う部え

山竹商店

佐藤正子  
(茶道)

ツキノワ  
合同会社

FABER  
月山

## 伝統工芸 地域産業

はげご  
作り

炭焼き作り

佐藤順子  
(まるはる)

渋谷浩  
(入間地区)

奥山千賀  
(剣玉・珈琲)

荒木畳店

縄ない職人

## 出羽三山 歴史文化

吉川  
権現太鼓

松田憲州  
(座禅)

太々神楽

宿坊  
(長甚坊)

※濃い色は繋がっている方  
薄い色は今後繋がりたい



# 3 力年状態目標

## ■ 2027年度末の状態目標

- ・これまでやってきた体験型ツアーを毎年継続的に実施し事業化するとともに、新たな地域資源を発掘することでどんどん体験プランが増え、事業が大きくなることで地域の経済も潤うという循環を生み出す
- ・より暮らしに密着した体験をしていくことで地域に興味を持ち、移住者や関係人口が増えている
- ・地域外からの参加者が増えることで町や企業の認知度が向上し、地域の経済が潤う

## ■ 2026年度末の状態目標

- ・四季に応じた多様な農業体験型ツアーを実施し、事業として継続できる状態になっている
- ・この事業が体験受入れ事業者だけではなく、地域住民にも知られ興味を持たれている
- ・地域住民が地域資源の魅力に気付き、その情報を発信することに積極的な状態になっている
- ・移住定住、二地域居住、起業就業などに関する地域課題の解決に向けて、行政と協働のもと公益性のある事業展開がなされている

## ■ 2025年度末の成果と振り返り

- ・中間支援主体からの協力で新たなステークホルダーと知り合うことができ、地域課題や次年度から一緒に事業に取り組んでいくことに対する前向きな意思を確認できた
- ・新たな観光（体験型ツアー）を実施する中で参加者からの意見を頂いたことで多方面からの改善点を知ることができた
- ・行政と地域課題に関連した議論がなされており、課題解決に向けて事業内容のすり合わせができた

# 今年度の状態目標に向けた取組内容【R8当初計画】

- これまでの歩み、成果や課題などを踏まえ、今後、プラットフォーム形成・運営のために、今年度優先的にチャレンジしたいアクションサイクルを記載ください。(最低3つ記載ください。)

	優先する アクションサイクル	いつまでに実現するか	実現のために何をするか	実現のために必要なこと (ヒト/モノ/カネ/仕組み/ 機能等々)
①	体制を整える	2027年2月（段階的に）	ステークホルダーと体験プログラムの実施に向けた受入れ体制を構築する	各体験プログラムの受入れ先となる地域住民・企業との連携
②	事業を生み出す	2027年2月（段階的に）	西川町全体として取り組む移住・二地域居住支援や観光推進と連動する	町の担当課との連携、補助金などの財源確保
③	地域のビジョンを描く	2027年2月	1年間の事業成果をプラットフォーム全体で共有し、アウトカムやインパクトを評価する	事業が生み出した価値を可視化するための評価指標、アンケート調査などによる測定
④				

# 中間支援主体の支援・取組計画【R8当初計画】

## ■ 中間支援主体の1年間の支援目標

・昨年度の活動を通じて農家さんなどの地域の方とのつながりを持つことができたため、今年度はさらなる魅力ある人たちの人材発掘や活動のコアメンバーとなる方との話し合いや交流を通じ、事業化に向けた体験プランの増加、ツアー参加者の認知度向上が図れるように支援を行う。

## ■ 支援計画

	活動団体の取組における現状と課題 (見立て)	課題を解決するために必要と考える手段 (打ち手)
①	現状：昨年度までの活動を通じ、活動のコアとなるメンバーとつながれた 課題：ツアー事業化に向けたアプローチとさらに隠れている資源（人・文化など）の深掘り	・昨年度つながった方とのさらなる交流、考えや価値観に触れる。 ・支援団体で持っているつながりの紹介。 ・必要に応じて地域に同行。
②	現状：先生として表で活動することに消極的な人の存在 課題：活動団体の「つながりたい」思いと地域住民の考えにギャップが存在する可能性。	・この団体に協力したいと思ってもらえるような、それぞれの人に合わせたアプローチを考えてもらう（謝礼など金銭面を具体的に提示、活動への熱量を伝えるなど） ・必要に応じて中間支援団体からの紹介も行う
③	現状：まちづくりと一体的となった観光コンテンツの構築を目指す。 課題：行政のまちづくりとの連携	・行政側の取組みの共有、関係者とのすり合わせの場を設定 ・行政内の特定の課のつながりに収まらず、様々な課と連携し多角的な情報を入手できるよう、活動団体と行政をつなぐ

# 中間支援主体のありたい姿

## ■ 中間支援主体としての本事業を通じた獲得目標とそのための具体的なアクション

- ・ 中間支援を担う人材の充実

本協議会のメンバーの構成に変更が生じても将来的に幅広い中間支援ができる体制の構築に向けて、中間支援の在り方や手法を理解し身につけることを目指す。

- ・ 活動団体の自走に向けた支援の確立

最終年度として、これまでの活動内容に対するアドバイスや助言などに追加して、来年度以降の自走できる体制に向けてのプロセス支援を行います。

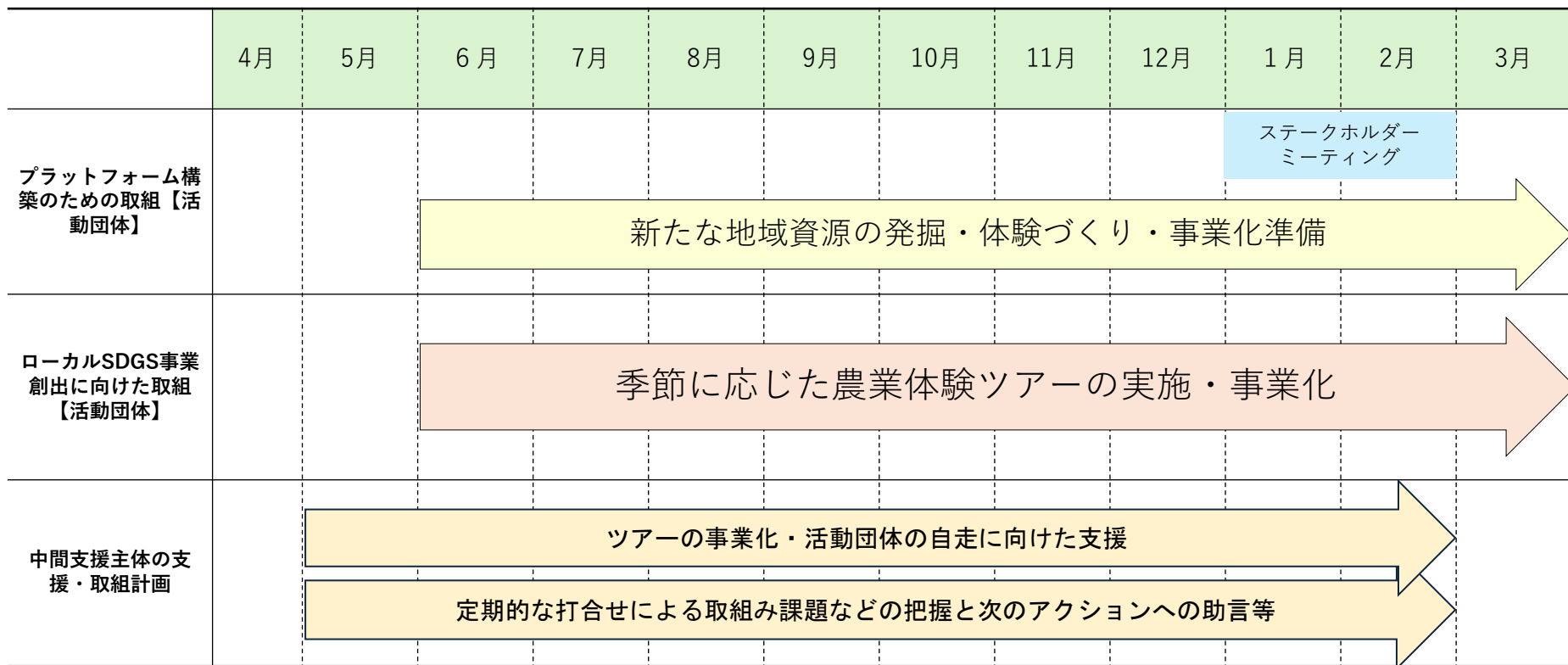
## ■ 中間支援主体としての本事業終了後の地域づくりへの貢献

- ・ 本事業において向上・獲得した中間支援機能を活かして、地域で活動したい団体が気軽に相談したり事業を始められたりする雰囲気、支援体制を作り、各団体が構築したプラットフォームをつなぐ役割を担っていく。

- ・ 活動団体や活動に興味がある人を地域内外でつなぐことで、地域の課題を地域のステークホルダーが解決していけるような環境を整え、活動団体に留まらずにさらなる中間支援団体の構築の支援などを通じ、持続可能なまちづくりに貢献していく。

# 活動・支援スケジュール【R8当初計画】

## ■スケジュール



ステークホルダー  
ミーティング

備考（補足説明など必要な場合は記載）